

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第5回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成21年1月16日(金) 午後3時～午後4時45分	場所	木津川市役所全員協議会室
出席者 (出席者…■ 欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長・議長)、■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■永松迪哉委員、■田中英治委員、■森岡宣之委員、■鶴岡由雄委員、 ■長柄光信委員、■中岡武司委員、■大西 清委員</p> <p>【事業者】</p> <p>■竹並秩男委員、 ※代理：池田健一(西日本旅客鉄道株式会社大阪支社企画課)、 ■佃 侑彦委員、■大久保篤士委員、■津田秀夫委員、 □船橋文人委員、 ■筒井基好委員 ※代理：木戸 昇(城南タクシー株式会社役員)、 ■金原俊夫委員 ※代理：武田忠和(加茂タクシー株式会社営業部長)、 ■加藤 隆委員、■小森義一委員、 ■佃 寿己委員 ※代理：松石康志(奈良交通労働組合) ■木村 保委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■阪部光雄委員 ※代理：戸田辰司(京都運輸支局運輸企画専門官)、 ■羽田祐治委員、■中島廣長委員、□西村紀寛委員、 □今西伸之委員 ■梅津康彦委員、□河井規子委員(会長)、 ■今井洋一委員、□炭谷育夫委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>堤 俊哉(国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長) ※代理：杉本昌宏(国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課)</p>	
事務局	<p>田中市長公室長、大西課長、坂元係長、西村主任 株式会社地域未来研究所 義浦慶子、堀部良治、前田雅人</p>		
傍聴者	1人(うち 報道関係者0人)		
議題	<p>1. 開会 2. 副会長あいさつ 3. 議事</p> <p>(1) 確認事項</p> <p>① 社会実験について</p> <p>○ 運行計画の変更について</p> <p>○ 利用状況について(山城地域、加茂地域)</p> <p>② 社会実験による協議会補正予算第1号について</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>① 木津地域の再編計画(案)について</p> <p>○ 路線・運行ダイヤについて</p> <p>② 市域全体での運賃形態(案)について</p>		

	<p>③木津川市地域公共交通総合連携計画について ○連携計画（中間案）について ○事後評価について</p> <p>(3) 報告事項 ①アンケート調査について ②地方の元気再生事業について ○進捗状況について ○事業の概要について</p> <p>(4) その他 ①次回法定協議会の日程について ②その他</p> <p>4. 閉 会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開 会 事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 副会長あいさつ 中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。</p> <p>3. 議 事 議長から運営内規の報告に基づき、会議録の署名委員として、長柄光信委員を指名した。</p> <p>(1) 確認事項 ①社会実験について ○運行計画の変更について ○利用状況について（山城地域、加茂地域） 「No.1 社会実験について」を用いて、運行計画の変更や山城地域と加茂地域のコミュニティバス利用状況について報告した。</p> <p>②社会実験による協議会補正予算第1号について 「No.2 平成20年度 木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号」を用いて、社会実験事業実施にかかった経費等について説明し、それに伴う補正予算について報告した。</p> <p>(2) 協議事項 ①木津地域の再編計画（案）について ○路線・運行ダイヤについて 「No.3 木津地域の再編計画（案）について」を用いて、木津地域のコミュニティバス再編計画（案）について提案し、委員の承認をいただいた。</p>

	<p>②市域全体での運賃形態（案）について 「No. 4 市域全体での運賃形態（案）について」を用いて、市域全体の運賃形態（案）について提案し、委員の承認をいただいた。</p> <p>③木津川市地域公共交通総合連携計画について ○連携計画（中間案）について ○事後評価について 「No. 5 木津川市地域公共交通総合連携計画について」を用いて、中間案の内容について説明し、計画内容のうち、実施主体の表記について一部修正し、パブリックコメントすることを承認いただいた。また、事後評価について「No. 5 木津川市地域公共交通総合連携計画について」を用いて、提案し承認いただいた。</p> <p>(3) 報告事項 ①アンケート調査について 「No. 6 アンケートについて」を用いて、平成 21 年 1 月に実施したアンケート調査について説明した。</p> <p>②地方の元気再生事業について ○進捗状況について ○事業の概要について 「No. 7 地方の元気再生事業について」を用いて、地方の元気再生事業の進捗状況や事業の概要について説明した。</p> <p>(4) その他 ①次回法定協議会の日程について パブリックコメントなど踏まえ、日程を調整する旨を説明した。 ②その他 平成 21 年 1 月 28 日に行われる地域公共交通活性化セミナーに木津川市が事例発表することを報告した。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開 会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 副会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議 事 (1) 確認事項 ①社会実験について</p>

○運行計画の変更について

○利用状況について（山城地域、加茂地域）

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No. 1 社会実験について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○ 加茂地域の利用者を伸ばすために、今までに又これから取り組んでいることは何か。

▶ 再編前に実施した告知は、時刻表の全戸配布、9月号市広報からの公共交通だよりで、再編について情報提供を行ってきた。今後も公共交通だよりや別の手段も活用しながら、利用者数増加に努めたい。また、今回の再編では標柱を新たに設置しており、これが各地域のシンボルとして認知され、利用者数の増加につながればと考えている。

○・加茂地域の利用者数は全体で見るとかなり増加しているが、1便あたりの利用者数がかかなり少ない路線もあり、この協議会で設定した定時定路線の継続条件にはまだ届いていない路線の方が多い状況である。1便あたりの利用者数が少ないこと、これまでに比べれば本数が増えたこと、利便性が向上したことを住民の方に十分理解していただき、利用者数が増加するように住民の方々と一緒に検討していただきたい。

・他の町では公共交通の利用者が減少している路線が多い状況の中、実験の成果もあり利用者数は大幅な増加となっている。引き続きこのような傾向が続くように、皆様及び住民の方々のご協力をお願いしたい。

②社会実験による協議会補正予算第1号について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No. 2 平成20年度 木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号

(2) 協議事項

①木津地域の再編計画（案）について

○路線・運行ダイヤについて

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No. 3 木津地域の再編計画（案）について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○・バスの運行ダイヤの決定に際して、これから協議していくことになると思うが、最近では運行の安全面に対する世間の評価が厳しい状況であるため、各運行事業者は力を入れている。ダイヤを決定する際には運行事業者と十分に協議して欲しい。

・きのつバスと奈良交通の路線バスは一部競合しているところがあるが、奈良交通としては、出来るだけこの協議会の意向に沿ったダイヤが出来るようにバックアップすることを社内で意思統一している。

▶ 安全面などを含めて配慮していく。今後もご協力をお願いしたい。

○・現在直通で運行されている路線が分割されることで、乗換抵抗が発生するため、出来るだけ乗換がないように配慮していただきたいと、以前の協議会で話した。今回の案は十分に配慮されていると思う。

・今回の案では、木津駅でどの程度停車時間を取っているのか。出来れば停車時間は短い方が良い。

▶ 滞留時間や具体的なダイヤなどについては、今後協議していきたいと考えている。

②市域全体での運賃形態（案）について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No. 4 市域全体での運賃形態（案）について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○ 運転手としては安全運行が第一である。今回の案では1日乗車券の提案があるが、車内販売となると運転手への負担が大きいため簡単に了解できるものではない。十分な検討と協議をお願いしたい。

▶ 安全運行を大前提とし、協議していききたい。ただし、運賃形態を市全体で統一し、単なる値上げではなく市域全体でバスの乗り継ぎが可能になることで、大きく利便性が向上するのではないかと考えている。市としては実現させる方向で協議していききたい。

○ 1日乗車券発行にかかる経費はどの程度か。

▶ 印刷経費のみと考えている。新たに機器をバスに設置することは経費が高くなるため、考えていない。他の乗車券と区別できるもの、また日付印を押して発行することを想定している。ただし、この方法がどれほど運転手の負担になるのか懸念もあるため、最終的な決定ではない。

○ 子どもや障害者の1日乗車券の料金はどうなるのか。

▶ 子どもや障害者は半額でと考えている。

③木津川市地域公共交通総合連携計画について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No. 5 木津川市地域公共交通総合連携計画について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○ 事業計画の実施主体について、社会実験で運行していない事業者が記載されているがどういうことなのか。

▶ 現在事業を実施している関係機関や運行事業者を基本に記載させていただいた。ただし、加茂地域での加茂タクシーのコミュニティバス運行実績はないが、今後加茂地域のコミュニティバスを運行するには加茂タクシーをお願いすること

になると思い、具体的に決定した訳ではなかったが記載させていただいた。

- 事前に協議なくこういったことを記載するのはどういうことか、ということ指摘している。
 - ▶ この部分の文言について改めてタクシー事業者の方と協議し、タクシー事業者と表記するなど修正をさせていただきたい。

- 連携計画では、事業者名を明記するのが一般的なのか。
 - ▶ このフォーマットは法律で定められたものである。その中で、事業の概要と主体を記入することになっているが、事業を明確化するために可能な限り事業主体を記載したほうが良い。ただ、この内容は計画を提出した後でも変更は可能である。

- 決まっていないのであれば、例えば地域内のタクシー事業者と記載しても良いのか。
 - ▶ 想定される全ての実施主体を記載するか、最小限を記載して後で追加するか、どちらでも可能である。

- 木津地域では使用車両が小型車両と記載されているが、小型車両の定義は何か。どこからが小型でどこからが大型なのか。利用者数が増加した場合に小型車両から大型車両へ変更出来ないことがないようにすべきではないか。最初から小型車両程度の需要しかないという認識を持つべきではない。
 - ▶ ・現在、きのつバスで運行している車両を想定している。
 - ・法律ではバスはすべて大型扱いになる。バス事業者が小型と呼んでいるのは全長が7m以下、現在きのつバスで運行されているサイズである。乗員は30～35人乗ることができる。
 - ・使用車両の大きさについては、道路状況等も踏まえて表現方法を検討させていただく。

(3) 報告事項

①アンケート調査について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・No.6 アンケート調査について

②地方の元気再生事業について

○進捗状況について

○事業の概要について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・No.7 地方の元気再生事業について

(4) その他

①次回法定協議会の日程について

	<p>会議結果要旨のとおり。</p> <p>②その他 会議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
その他 特記事項	